

尋常  
小學  
算術  
教授書  
於本邦  
採用  
一

167

67  
5  
274

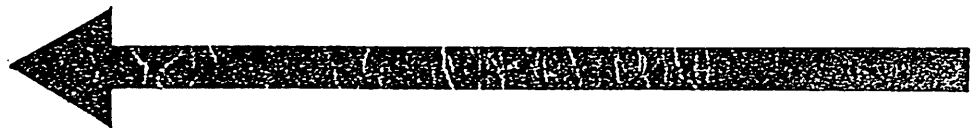
大日本教育會  
第六室  
一  
三  
一  
八  
號  
六  
冊  
五  
國  
架

77

K110.44  
97  
1

B12

1925



鈴木知幾編輯

尋常  
小學

# 珠算教授書

版權免許

永和堂  
穂山堂  
藏版

尋常  
小學  
珠算教授書卷之一

鈴木知幾 編輯

○ 數字

零じゆ 一いち 二に 三さん 四し 五ご 六ろく 七しち 八はち 九く 十じゆ

○ 算用數字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

○ 算術教 實物之計方

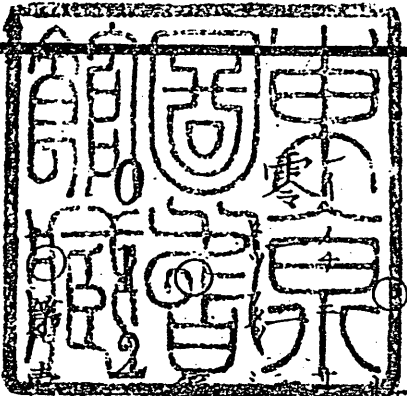
實物の計方を授くるに先づ能く一つ二つ三つ四つ五つ等の称呼を練熟せしめ而して日常に學べる處の實物に就き或ハ塗板上に書画

珠算教授書 卷之一

明治三十年一月十三日内務省交付第309号

尋常  
小学  
珠算教授書卷之一

鈴木知幾 編輯



教	3	四	教
用	4	五	字
数	5	六	字
字	6	七	
	7	八	
	8	九	
	9	十	

實物の計方

實物の計方を授くるは先づ能く一つ二つ三つ四つ五つ等の称呼を練熟せしめ而して后平常目撃する所の實物に就き或は塗板上に書画

尋常小学珠算教授書

珠算教授書

鈴木知幾 編輯

一

図形等を記して之を算計せしむべし  
獸類即ち犬や猫を数ふるは何と唱ふるや



答 匹又ハ頭といふ  
上図の猫を計ふべし

三

鳥類即ち鳩や雀を計ふるは何と呼ぶや



答 羽といふ  
然らば此図の雀を数へよ

五

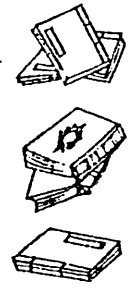
魚の類を数ふるは何と唱ふるや



答 匹又ハ尾といふ  
上図の金魚を計ふべし

七

書籍の類を数ふるは何といふや



答 冊又ハ巻或ハ部といふ  
上図の書籍ハ幾冊ありや

九

靴、下駄、足袋の類を計ふるは何といふや



答 足といふ  
此図の靴を計ふべし

十

鏡、硯、筆、墨、米、麦、衣服、家障子、屏風、鋏、車、船、花等を数ふるは各其唱如何

尺、又て五度計りたる長さを何程といふや

一升、拵、又て二杯量りたる米を幾何と呼ぶや

〇〇〇〇〇〇 此丸ハ幾個ありや

十四

十三

十二

と	い
ち	ろ
り	は
ぬ	に
る	は
を	へ

此字數ハ幾個ありや



此木の花ハ何程ありや

十五

十六

第二教

實物加法

二

一 今予の右の手は茶碗一つと左の手は茶碗一つ  
 と持てり之を一つの手は持てハ幾個とふるや  
 答二個

二 右の如く左右もある数を一個ヒトツはふるを何とい

ふや

答合中又加へるといひ或ハ寄るといふ

三

其合して成る数を何といふや 答 和といふ  
 今汝等又教ゆる如く物の数を計ふる算科を何

四

といふや 答 算術

五

一つ又一つを足せば二つあり之を数へると何  
 と呼ぶや 答 一又一足はの二

右一又一添の二又一二足はの三といふ如  
 く其呼方を左の加算九と表す仍て諳誦せしむ  
 べし

加算九九表

一	一
二	二
三	三
四	四
五	五
六	六
七	七
八	八
九	九
十	九

六 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 七 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 八 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 九 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 十 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 十一 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 十二 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 十三 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

六 五 六

筆一本と筆七本ハ筆何本ありや  
 墨一椀と墨八椀を合ふれハ墨何椀とありや  
 花一輪と花九輪を合ふれハ花幾輪とありや  
 ○第三教 前の續き  
 加算九九表を誦誦せしむること前例の如し

加算九九表

二	一
三	二
四	三
五	四
六	五
七	六
八	七
九	八
十	九

一 二

一 二、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 二 二、二、三、四、五、六、七、八、九、十

三 二より三を足せば幾個とあるや  
 四 本二冊より本四冊を加ふれば本幾冊とあるや  
 五 盃二つより盃五つを合せて盃幾個とあるや  
 六 鳥二羽と鳥七羽の和ハ幾羽ありや  
 七 梨二つと梨六つハ梨幾個ありや  
 八 右の手より林檎二つ持ち左の手より林檎八つ持ち  
 九 たり合せて此林檎幾つありや  
 家根の上より鳥二羽と木の枝より鳥九羽あり合  
 て此鳥幾羽なりや

○第四教

前の續き

一 二 三 四 五 六 七

加算九表

三	
四	一
五	二
六	三
七	四
八	五
九	六
十	七
十一	八
十二	九

一 三より一を足すの幾つありや  
 二 三より二を足せば幾つとあるや  
 三 三と三の和ハ幾個ありや  
 四 牛三匹と牛四匹あり合せて牛幾匹ありや  
 五 馬三匹と馬五匹を合せて幾匹なるや  
 六 卵三つより卵六つを足せば卵幾個とあるや  
 七 雀三羽より雀七羽を加ふれば雀幾羽とあるや

八 元ハ桃を三つ持ち弟ハ桃を八つ持ちたり兄弟  
 の持ちとる桃を合せて幾個なるや  
 九 三才の童子と九歳の童子あり此の年齢を合せて  
 幾才とふるや

○第五教 前の續き

加算九九表

四	
五	一
六	二
七	三
八	四
九	五
十	六
十一	七
十二	八
十三	九

一 四一添きの幾個なるや  
 二 四二足せば幾個とふるや  
 三 紙四枚と紙三枚を増せば紙幾枚となるや

四 或人馬又乗りて四里行き又歩行して四里を行  
 きたりといふ合せて幾里の路程なりや  
 五 時計四個と時計五個ハ時計幾個お少や  
 六 椅子四脚と椅子六脚を加ふれば椅子幾脚とふ  
 るや  
 七 半紙一帖を四裁して買ひ義濃紙一帖を七裁し  
 て買ひとり合せて此金幾裁おりや  
 八 石筆四本と石筆八本を加ふれば石筆幾本ふる  
 や  
 九 米四俵と米九俵を加ふれば米幾俵おりや

○第六教 同上



加算九九表

五	一
六	二
七	三
八	四
九	五
十	六
十一	七
十二	八
十三	九
十四	

一 五又一添申ハ幾個ありや

二 石盤五枚又石盤二枚を加ふれば石盤幾枚とあるや

三 蠟燭五挺又蠟燭三挺を加ふれば蠟燭幾挺とあるや

四 五個又四個を足せば幾個ありや

五 新酒五升又古酒五升を混ぜれば幾升の酒と

六 帽の價は金五円又一時計の價は金六円あり

七 此金合して幾円ありや  
蜂五匹と蝶七匹とを合せて幾匹あるや

八 梅の木あり南枝又五輪と北枝又八輪の花を開きたり合せて此花幾輪あるや

九 或生徒金五匁にて筆を買ひ金九匁にて本を買ひにり此金合せて幾許あるや

○第七教 同上

加算九九表

六	一
七	二
八	三
九	四
十	五
十一	六
十二	七
十三	八
十四	九

一

元の歳は六才弟の歳を四才ふり兄弟の歳を合

二

せて幾才なりや  
九の上は本六冊あり机の下は本五冊あり此本

三

合せて幾冊ありや  
一の樽は溜六升入れ又一の樽は溜六升入れと

四

り両方の樽はて溜幾升ふりや  
奈校はて書物を讀む生徒六人と美術を習ふ生

五

徒七人あり此生徒を合せて幾人ありや  
一本の枝は柿六つと七つとあり合せて此柿幾

六

個ありや  
麦六俵は麦八俵を合せて麦幾俵ありや

七

母が煎餅を六枚持ち父が煎餅九枚持ちたり合

八

せて幾枚の煎餅なるや  
男児六人と女子三人あり合せて幾人なるや  
○第八教 同上

加算九九表

七	
八	一
九	二
十	三
十一	四
十二	五
十三	六
十四	七
十五	八
十六	九

一

七日は一日を加ふれば幾日とあるや

二

見鳥七羽は親鳥二羽あり合せて幾羽ありや

三

馬は乗りて七里走り又車は乗りて四里走れり  
合せて幾里走りとるや

四

午前は手習を七枚おし午後は手習を五枚おせ

り合せて幾枚手習をおせしや

金七円と金七円を加ふれば金幾円あるや

名古屋より知立駅まで路程七里あり又知立駅

より岡崎までハ路程三里あり此兩方の路程を

合せて幾里あるや

小児が扇を揚げて糸を七間延せり今八間を延

きば幾間となるや

白米七升と玄米九升あり合せて幾升とあるや

第九教 同上

加算九九表

八	一
九	二
十	三
十一	四
十二	五
十三	六
十四	七
十五	八
十六	九
十七	

一

二

三

四

五

六

七

八

米八升と麦五升とを合せば幾升とあるや

八個と二個は幾個とあるや

金八匁と墨を買ひ三匁と筆を買ひわり合

せて此金幾匁ありや  
或童子午前一本八枚を讀み午後一本七枚を讀み

たり合せて幾枚あるや  
金魚八尾と鯉四尾とを合せて幾尾とあるや

園林に松八本と杉六本あり合せて幾本あるや

縮緬七反と木綿八反とを合して幾反あるや

旅人あり初日八里を歩き翌日九里を歩きたり

といふ此里程を合せて幾里あるや

○第十教

同上

如算九九表

九	一
十	二
十一	三
十二	四
十三	五
十四	六
十五	七
十六	八
十七	九

一 白足袋九足と紺足袋三足とを合して幾足あるや

二 魚九匹と魚五匹を足せば幾匹あるや

三 女生徒九人と男生徒六人あり此生徒を合せて

幾人あるや

四 家の前と梅九本あり家の后と桃七本あり合せて

幾本ありや

五 九と八と七の幾個あるや

六 砂糖九斤と砂糖四斤あり合せて幾斤あるや

七 上茶九斤と下茶九斤を交せれば幾斤と成るや

○第十一教 實物減法

一 予は今爰と三個の帽を持ちて此内二個を他と

移せば幾個とあるや 答 答 一個

二 其一個を何といふや 答 残数

三 今の如く三個の内二個を取ると算術にて何とい

ふや 答 引といひ又ハ減きといふ

四 多数の内より少数を減き残りし数を何と称するや

答 差と名づく

減算九九表

九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇
八	七	六	五	四	三	二	一	〇	一
七	六	五	四	三	二	一	〇		二
六	五	四	三	二	一	〇			三
五	四	三	二	一	〇				四
四	三	二	一	〇					五
三	二	一	〇						六
二	一	〇							七
一	〇								八
〇									九

より一引て幾個残ると思ふや

減算九九表を教  
 ぬること加算九  
 九表と同く一  
 より一引の零二  
 より一引の一と  
 順次九に至る之  
 を請誦せしむへ  
 〓  
 (五) 汝等ハ減算九  
 九を知れりや一

十三 十二 十一 十 九 八 七 六



三より二引て幾個残るや  
 六より一引て幾個残るや  
 八より五引て幾個残るや  
 九より七引て幾個餘るや

爰ハ残り幾羽とあるや  
 爰ハ二羽の雞あり内一羽を捕へ去  
 爰ハ鉢三個あり内二個も花形あり  
 円形の鉢は幾個ありや  
 筆五本の内三本ハ筆立の中一あり  
 筆立の外一ある筆何本あるや

石盤五枚より石盤一枚を減り残る石

尋常珠算大成卷之十一

盤は幾枚なりや

桃六つより桃売つを減きれを残り幾個とある

や

或童子桃を七つ持ちこり内一つを人よ与ふれ

バ残りの桃も幾個とあるや

絹一反の價を八円よいて木綿一反の價は一円

かり幾円の差ありや

米九升の内よて一升を食せれば幾升残るや

○第十二教 同前

爰よ二個の梨あり此梨を悉く食せば幾個残る

や

二

三人の生徒あり内二人ハ男あり女子は幾人あるや

三

四冊の書物を二冊読み終らばあとよ幾冊残るや

四

雀五羽あり内二羽飛び去れば残幾羽ありや

五

囊の中よ六錢あり内二錢を出して紙を買ひた

六

れバ囊の中よ残りよる錢ハ幾割ありや  
大小の松七本あり内三本を小松ふれば大松は

七

幾本ありや  
蜜柑九個より密柑二個を減きれば残りたる密  
柑幾個とあるや

○第十三教

同前

一

四輪の花あり其中三輪を紅色にして餘を白色  
ふりと六ふ白色の花幾輪あるや

二

茶碗五個の内三個破棄してこれを全き茶碗幾個  
ありや

三

米六俵と麦三俵あり米を麦より幾俵多きや  
七匹の牛あり中三匹ハ牝おれば牡ハ幾匹あり

四

や  
八斗の豆より三斗を減て牝ハ残幾斗ありや

五

魚九匹釣り内三匹を池に放ちたりば残の魚幾  
匹とふるや

七

姉の年齢は十歳にて妹ハ三才あり妹より姉を  
幾才多きや

八

金十円の中三円を費したれば残り幾円ありや  
○第十四教

一

粟の中一卵四個と粟の外一卵五個あり外ふる  
卵ハ幾個多きや

二

蛤六つより蛤四つを減て水ハ残り幾個あるや  
獨染七つより獨染四つを減て水ハ残り如何

三

八輛の人力車と四輛の馬車あり馬車より人力  
車の多きこと幾輛ふるや

四

九挺の墨あり内四挺を人一人與ふれば残幾挺ふ

るや

六

六張の提燈あり内五張消へたれハ點りたる提燈幾張あるや

七

掛物七幅あり内五幅を画まして餘を書かりといふ書幅の数幾何

八

酒と溜まで八樽あり此内五樽を酒おれバ溜りハ幾樽ありや

九

美濃紙九帖あり内五帖をくまへたれバ残幾帖とあるや

一

米七石あり内六石を賣りたれを残りとする米幾

○第十五教 同上

二

石ありや  
八匹の馬と六匹の牛あり馬より牛ハ幾匹少きや

三

砂糖九斤あり内六斤黒砂糖おれバ白砂糖を幾斤ありや

四

八尺の木綿と七尺の金巾あり金巾より木綿の長きこと幾尺あるや

五

石筆九本の心より石筆七本を引けバ残りたる石筆幾本ありや

六

机の上ハ八冊の書物あり机の下ハ七冊の画本あり多少の差幾冊ありや



七

椅子三倚りたる人九人と坐しとる人八人あり

八

池の端に亀九匹と池の中は亀九足あり少差

九

十二月の内より九月を減ざれば残り幾月あり

十

巻烟草十五箱あり内十箱を賣りたれば残り幾箱とあるや

○第十六教

實物加減雜法

一

桃五つあり此内三つを兄と與へ二つを妹と与ふれば残り幾個とあるや

二

六冊の書物を午前は三冊読み午後は二冊読み

三

四円の銀貨と三円の紙幣あり内五円を費したれば残金何程とあるや

四

米麦豆の三穀合せて十五俵あり中十俵は米とて二俵は麦ふれば豆は幾俵ありや

五

雞の卵五つと家鴨の卵三つあり内五つを食したれば残の卵は幾個ありや

六

筆六本と筆六本の内八本を人にと与へたれば残りの筆幾本ありや

七

右の袂は四つと左の袂は六つあり此内九つ

八

を母と与へられたるバ残りの梨ハ幾つありや  
墨五拵の内三拵を人小与へ又五拵を買入れた  
らバ今幾拵の墨とあるや

九

或人十三里の路を馬車にて七里船にて三里行  
きたれば残りける路程を幾里あるや

十

牧場ニ羊五匹と牛三匹あり内六匹を他ニ移  
たれば残りの牛羊合て幾匹あるや

十一

或生徒金十六銭を持ちて書肆ニ行き金五銭  
にて小本読本を買ひ七銭にて尋常小本珠算書一  
冊を買ひたれば残りの金幾銭あるや

○第十七教 實物乘法

一

予は左右の手小各球一個を持てり此球を同一  
小数ふれば幾個とあるや

二

其二個は一個の幾倍あるや 答ニ倍  
倍とは如何ある数をいふや 答同一の数を  
合さるをいふ

三

右の如く同一の数を同一小数ふる此算法を何  
といふや 答乘法又は掛算といふ

四

衆して得る数を何といふや 答積といふ

五

今汝等ニ衆算九々を授くべし然らば一一が一  
とも如何あるをいふや

六

一の同数二つ集るを何といふや



五

六

七

八

人又は二本の手あり六人の手と幾本あるや  
毎日二枚宛書物を學ぶときハ七日の間は幾枚  
も奪び得るや  
二人宛並じとる兵士八列の人数ハ幾人あるや  
兄弟あり各柿九つを持てりといふ其柿合せて  
幾個あるや

○第十九教 同前

一  
二  
三  
四

一 双三円の屏風三双の代金幾何  
二 戈の童子四人の年齢合して幾戈あるや  
三 五幾個ありや  
四 三人の生徒は筆六本宛を与ふ水ハ筆何本を要

五

六

七

米三俵宛積みたる車七輛あり総て幾俵あるや  
人力車壹里の賃幾三匁水ハ八里の賃幾ハ幾  
何ありや  
鼎の足は三本あり今爰は九つの鼎あり其足数  
合して幾本ありや

○第二十教 同前

一  
二  
三  
四

一 四個を四倍水ハ幾個とあるや  
二 一石の代金四円の米五石の代金何程あるや  
三 一帖四匁の半紙六帖の代價幾何  
四 斗八の米俵七俵あり此惣升高幾何ありや

五

板四枚を以て一間を張るときは八間の塀を張る又板幾枚を要するや

六

人又ハ手足合せて四本あり今九人の手足を計ふれば幾本ありや

七

桜の花一輪を五辨あり今六輪の花を算て水バ総て幾辨ありや

八

間口五間又奥行八間の地面あり此坪数ハ幾許ありや

九

五人の兵士一日又糧食五合宛を要するとせば総て幾許の糧食あるや

十

季校又於て一日又五時間の誓古あり今九日間

誓古セバ幾時間とふるや

○第廿一教 同前

一

六疊敷の室六處の疊ハ幾疊ありや

二

六名の女子又白粉七包宛を興ふれば惣計幾包あるや

三

六個も八倍申れも幾個やなるや

四

牛一匹又炭六俵を負ふとせハ牛九匹又炭幾俵を負ふべきや

五

一升七匁宛の醤油七升の代金幾何あるや

六

一円二付九斤替の烟草を買ふて金七円を拂へバ幾斤を得るや

七

長さ七間の繩を八倍すれば其長さ幾何あるや

八

八俵積の荷車八輛の惣積高を幾何あるや

九

鯨の足は一匹は八本あり今九匹の鯨は足幾

本ありや

十

一行は九字宛九行の書を書せば其字数幾個と

あるや

○第廿二教 寶物加減衆雜題

一

梅の花一輪を五辨ふり今二輪宛開きたる枝四

本あるとき此花の辨八総て幾許あるや

二

人よも手二本と足二本あり今三人の人よは手

足合せて幾本ありや

三

筆一對を二本かり業三對と一本を幾本あるや

四

一個より三疋の鉢三つと一個より二疋の壺四

つを買ふとき八代金幾疋を拂ふべきや

五

蜜柑三個宛持ちたる小兒五人あり此中五個を

食へたれを残りの蜜柑を幾個となるや

六

五人の家族あり一人一日は米四合宛を食中れ

む三日間の食米幾許ありや

七

一帖四疋の紙三帖を買ひ十五疋を拂はし鈎幾

何程を受取るべきや

八

犬を足四本あり今犬二匹の足を八三人の足よ

比ふれば幾本多きや

○第廿三教

實物除法

一 爰小算四本あり之を二つおきれば幾本となるや

答二本

二 右の如く物の数を分つ算法を何といふや

三 除法或ハ割算とて如何なる算術をいふや

四 除して得たる数を何と云ふや 答商

五 九帰法とは如何なるものをいふや

答八算の割詞

六 九帰法の称呼ハ大小何れの数を先よして唱ふるや

答大数を先よして小数よ及ぶ

一と一の割詞を何といふや

一を二よて割るは何と呼ぶや

九帰法を授くること九九表と同じ之専ら其呼

声を諳誦せしむるを要す

一進一十	二進二十	三進三十		
二添五	二進十	三三士	三六十二	三進十
四二十二	四添五	三七士	四進十	五一倍二
五二倍四	五三倍	五四倍	五進十	六二倍
六三三士	六三添五	六四六士	六五八十二	六進十
七二下加三	七二下加六	七三四十二	七四五十五	七五七士

七六八四	七進二十	八二加二	八二加四	八三加六
八四添五	八五六七	八六七四	八七八六	八進二十
九二加一	九二加三	九三加三	九四加四	九五加五
九六下六	九七下七	九八下八	九進二十	

九 十 十一 十二 十三 十四 十五

四と二の除声を何といふや  
 七小て一を除く呼声如何  
 八と五の割詞如何  
 五と二の除声如何  
 六とて四を割る詞を何と呼ぶや  
 九と五の割声を何といふや  
 九と九の割詞如何

一 二 三 四 五 六

○第廿四教 同前

桃二個あり之を二人の小児と与ふれば一人幾  
 個又当るや  
 四個を二分すれば幾個とあるや  
 六俵の米あり之を車二輛と積むとき一輛と  
 幾俵を積むべきや  
 金八円又て帽子二個を買ひたり一個の代金を  
 幾円あるや  
 金十円を二人と分配すれば一人幾円又當るや  
 石筆十二本あり二人の生徒と與ふるとき一  
 人幾本宛あるや



七

十四斤の茶あり一日は二斤宛賣らば幾日といふて賣尽すへきや

八

十六個も二個の幾倍あるや

九

十八里の路程を行くは二日を費せりといふ一日は幾里宛を行きしや

○第廿五教

一

九枚の書あり之を三時間と謄寫せんとせば一時間と幾枚を謄寫して可あるや

二

童子三人の年を合して十二戈あるといふ各幾戈あるや

三

十五錢にて墨三挺を買ハハ一挺の價如何

四

梨十八個を三人の童子と均し之分て一人幾個宛を得るや

五

米三升の代せ一戈あるとき一升代何程あるや

六

廿四個を三分せれは何程あるや

七

織物廿七反を三部に分ては其一部幾反とふるや

八

半紙十六帖を以て四冊の帳簿を製せし一冊の紙數幾帖あるや

九

金廿円にて石四円の米幾石を買ひ得べきや

十

廿四人の生徒を四組に分ては一組の人数幾人

あるや

士

四人組合して廿八斤の砂糖を買ひたり一人幾斤よきや

士

一冊四錢の書物若干冊を買ひ金三十六錢を拂ひたりといふ幾冊を買ひしや

○第廿六教 同前

一

輪周五尺の車を以て廿五尺を行くよハ幾回轉さべきや

二

金三十五錢を貧者五人に恵むときハ一人に幾錢宛を与ふべきや

三

一里の賃銀五錢の割りて人力車は乗り四十五

四

錢を拂ひしといふ幾里を乗りしや

漁車一時間よ六里を走るときは三十六里の路程を幾時間ふして遠く得べきや

五

米四十二俵を車一輛よ六俵宛積むとき幾輛の車を要するや

六

一時間よ六枚宛手習せば四十八枚の双紙を幾時間よして習ひ終るや

七

粟四十九個を若干の童子よ七個づゝ与へたりといふ童子幾人あるや

八

六十三個を七個の幾倍あるや

九

七十二枚の紙を以て障子八枚を張ましといふ

障子一枚と紙幾枚を要せしや

十 六十四斤の砂糖を八日は賣らば一日の賣高幾

斤あるや

十一 職工二名を雇ひて八十一貫の賃錢を拂ひしと

いふ一名の雇賃幾あるや

○第廿七教 實物加減乘除法

一 桃三つと桃四つあり之を七人の小児に分ち典

ふれし一人の得分幾個あるや

二 茶碗九つあり内三つは損處あるを以て之を省

き其餘を三人にて分つとき一人幾個あるや

三 四人の慈善者各金二円宛を醵金して貧者若干

人よ金一円宛を惠与せしといふ貧者の數幾人

あるや

四 米六俵と表三俵あり其内一俵を甲に賣り餘を乙丙

の二人に賣りしといふ乙丙各買受し處の俵數

如何

五 七個と八個の和より五個を減し之を二分せし

と幾個とあるや

六 每一石五円の米三石を賣り其代小每一頭三円

の羊若干匹を受取りしといふ問ふ幾頭の羊あ

るや

七 二人乗の人力車ふれし六兩を要せしといふ一人

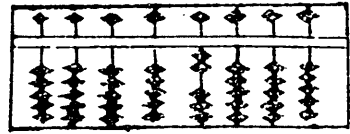
八 乘ふれと幾輛を要するや  
 李生あり三十五冊の書物を午前二冊読み午  
 后又三冊を読みたり此割を以て其餘の書物を  
 読むときハ尚幾日を費して全く読む終るべき  
 や

○第廿八教 算盤用法并布敷

一 算盤用法を授くるは先づ算盤小就て其扱方  
 及び天地の區別上下の方等委敷了解せしめ而  
 して順次用法に進むべし  
 二 算盤小ある横木より上の顆を何といふや  
 地の顆とハ何れの顆をいふや

三 四 五

三 算盤の左を何といふや  
 四 下とは何れの方をいふや  
 五 地の一顆を数の幾個ふるや



(一) 天の一顆ハ地の幾顆に当るや  
 (二) 此算盤に布きハ幾個ふるや  
 (三) 汝等は四個を置くべし  
 (四) 五個ハ如何に置くや  
 (五) 天の一顆と地の二顆を布けて幾個  
 ふるや

六 七

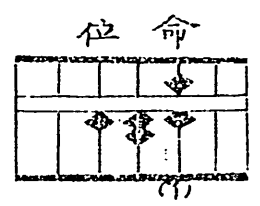
六 十個を如何して置くべきや  
 七 一の桁より上の桁にある一顆を何といふや

十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

十一個を布くべし  
 十五個を置くべし  
 十の桁に二ある三顆と何個かりや  
 二十八個を布け  
 九十個を置くべし  
 十の桁より尚上の桁を何とよぶや  
 百個も如何に置くべきや  
 百三十五個を布くべし

右は其大略を示せし過ぎきされむ尚教授の際増補して習熟せしむべし  
 ○第廿九教 命位位取

命位とは算盤小置きとる数を何十何個と読むとをいふ



○上の如く算盤に置たる数の位を命せんとせむ先つ一の位より九へ一十百と数のある迄位を取り即ち百の桁に一顆あれば一百と読み次は十の桁に二顆あれば二十と読み一の桁に六顆あれば六十個と読むかり故に上の数を百二十六個あるとを知る 餘ハ此例を推して授くべし

左の諸数を撰算盤小布き口答或ハ筆答せしむべし

K121.7

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五

小學珠算教授書卷之一終

十八個	二十三個	四十九個	六十四個	八十五個	百〇一個	百三十四個	百七十八個	百九十七個	百二十三個	百四十六個	九十個	七十二個	五十一個	三十六個	三十八個
(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	(八)	(九)	(十)	(十一)	(十二)	(十三)	(十四)	(十五)	(十六)

明治十九年十月七日版權免許  
同 年十二月廿日刻成

愛知縣士族

編輯人

鈴木知幾

愛知縣名古屋區正木早  
二百八十九番邸 居住

同 縣平民

出版人

久永藤治郎

愛知縣額田郡岡村  
八十五番邸 居住

同 縣平民

出版人

鈴木彌一

愛知縣南設樂郡新城村  
五百六十八番邸寄留

小學算教授書  
 於本館發售  
 二

第一六一號  
 三  
 六冊  
 一〇架  
 由國

K.10.44  
 97  
 2